

群青



八雲町立八雲中学校

令和5年度

1月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「自ら学び鍛え 良さを伸ばし合える生徒」の育成

「進路選択・進路決定について」

校長 柴野 貴史

今年に入って暖冬のせい降雪量も少なく、雪かきに追われることなく生活できていることに、感謝している毎日ではありましたが、この後どのくらい雪が降るのか不安がよぎります。

さて、1月12日に冬季休業後集会が行われました。そこから3年生の登校日を数えると、わずか42日でした。3年生は、それぞれの進路実現に向けた踏ん張りどころですね。私立の推薦試験の生徒は、いち早く吉報をいただいたところですが、一般試験の生徒たちはこれからです。しかし皆さんは試験対策など最善を尽くしてきたのだから、後は人事を尽くして天命を待つことにしましょう。

振り返ると3年生は、11月頃から進路に向けた動きが活発になってきます。中学校までは義務教育でしたから9年間の学校生活は保障されていました。その後は義務教育ではないため、自分の力で進路先を切り拓いていかなければなりません。

しかし、その時ただ単にどこかの高校に入ればよいという考え方では、次の生き方に大きな支障が出てくることも想定されます。自分の将来のことを考えるとともに、この高校等でどんなことをしたいのか、どんなことを学びたいのかなど、自分の進路にしっかり向き合ってほしいです。1・2年生も心してほしいと考えております。

そのためには、事前準備として興味関心のある高校等のパンフレットを見て、学校の情報は事前に頭に入れるとともに、学校説明会等に足を運び、学校生活をイメージしていく必要があります。そして同時に将来を見通して、自己の個性・能力・適正などを理解した上で考え、生徒自らが納得のいくものとするのが大切であります。

担任を中心に進路担当教諭等とも連携を図り、しっかりと進路相談を進めてまいります。特に保護者とともに行う3年次の三者面談は重要な場となります。それは生徒の主体的な進路決定に向けては、保護者の理解と支援がなければならないからです。各ご家庭では日頃から進路を話題とするなど、いざ進路を決定するというときに、しっかり話し合いができるようにしておいてください。

3年生は進路選択を考え、進路決定をしていく重要な時期を乗り越えてきました。それは3年生になってから始まるものではなく、1・2年生での学習の積み重ねとともに、学校生活での様々な活動を通じた学びがあつてのことです。

1・2年生においても、日頃の各教科や様々な教育活動での学習とともに、勤労観・職業観の形成や主体的な進路選択、将来設計などの進路に関する学習を行うことで、3年次の進路決定につながってくることから、1・2年生の段階から自身の進路、受験に向けた意識を高めていく必要があります。

中学校卒業後の進路のことについて、一度しっかり考えてみましょう。